

2016 春季生活闘争アピール

# 底上げに向けた今後の取り組みについて

## ～ 賃上げをすべての働く者へ ～

本日、2016 春季生活闘争における最初のヤマ場を迎えた。

今次闘争では、「デフレからの脱却」と「経済の好循環確立」に向け、月例賃金の引き上げにこだわり、賃上げの流れを継続させることを訴えてきた。すべての組合が、労使の社会的使命を果たすべく、厳しい交渉環境の中で賃金の引き上げを求め真摯な交渉を繰り広げた結果、本日、先行組合が月例賃金の引き上げ回答を引き出した。

我々は今次闘争のキーワードを「持続性」「月例賃金」「広がり」「底上げ」と定め、すべての働く者の処遇の「底上げ・底支え」「格差是正」の実現をめざしている。そのためには、本日までに示された回答内容を、続く中堅・中小組合はもとより、未組織を含めたすべての働く者の賃金引き上げに確実に波及させなければならない。第5回戦術委員会確認事項を踏まえ、以下の事項に取り組むことを要請する。

### 記

1. 先行する組合が引き出した回答内容を賃上げのうねりとしてあまねく波及させるために、交渉中の組合は3月決着に向けて全力を尽くす。また、非正規労働者の雇用の安定と処遇の改善に向けて、正規・非正規の同時決着をめざす。
2. 構成組織は、交渉中の単組に対する訪問オルグなど、要求趣旨に則った回答引き出しに向け全力を尽くす。大手組合は、グループ・関連会社組合の支援を強化する。
3. 地方連合会は、地場共闘のもとで地方構成組織と連携し、中小・地場組合の交渉を支援するとともに、回答内容などの情報共有をタイムリーに行う。加えて、成果を地場における賃金相場の底上げに波及させるため、効果的なアピールや情報提供を行う。

連合は、構成組織、地方連合会、単組との連携を強め、月例賃金引き上げの流れを継続させるべく、波及効果の増大をはかっていく。

2016 年 3 月 16 日  
日本労働組合総連合会  
中央 闘 争 委 員 長  
**神 津 里 季 生**